

「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和7年6月13日（金）

1～3校時（9:00～11:30）

場 所：薄井原古墳

対 象：松江市立本庄小学校6年生児童12名

指導者：本庄小学校職員

埋文C職員

1 主題 古墳時代 ～ 薄井原古墳の見学をしよう～

2 ねらい

- ・ 地域にある遺跡を素材とした歴史学習を通し、郷土の歴史や文化に対する興味・関心を高める。
- ・ 古墳を実際に見学することにより、古代の歴史や文化についての理解を深める。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
9:00	1. はじめの会 講師紹介、今日の流れを知る。	・ 埋蔵文化財調査センターの職員を紹介する。 ・ 見通しを持って学習できるように本時の学習内容を知らせる。	
9:12 9:21	2. 講師と一緒に、路線バスに乗り、 現地まで移動する。 (水分補給・トイレ休憩)	・ 事前指導を行い、バス乗降の安全や乗車中のマナーに気を付ける。	
9:30	3. 薄井原古墳の所有者の方に 挨拶をし、薄井原古墳の概要を 聞く。(10分)	・ 古墳の様子について事前の社会科の授業で学習しておく。 ・ 古墳のある山に登る時の注意も行い、安全に留意する。	遺跡分布図 写真等
9:40 10:40	4. 実際に古墳に行き、立地や大きさ、 遺跡を体感するとともに、 薄井原古墳について話を聞く。 (1時間) (水分補給・トイレ休憩)	・ 指導者の監督のもと、古墳の見学を行う。現地で話を聞いたことを、可能な場所でメモをとれるように、準備しておく。	見学のしおり 探検バック
10:40 11:00	5. 当時の土器に触れ、当時の生活 の様子について説明を聞く。 (20分)	・ 土器を見たり、実際に触ったりする。 ・ 使い方や用途を考えさせることによって、関心を高めるとともに、既習事項の定着を図る。	
11:05	6. 学習を振り返る。(5分) ・ 感想発表。 ・ 終りの挨拶	・ 感想用紙を準備する。	感想用紙
11:21	7. 路線バスに乗り、本庄小に帰る。	・ 往路同様、バスの乗降、乗車中のマナーを守るよう、指導する。	

4 準備物

(児童) 筆記用具、タオル、汚れてもよい服

(埋文センター) 出土遺物、遺跡関係資料、写真パネル、粘土、施文具、土器作り資料、カメラ

「心に残る文化財子ども塾」指導案（雨天の場合）

日 時：令和7年6月13日（金）
2, 3校時（9:40～11:30）

場 所：本庄小学校

対 象：松江市立本庄小学校6年生児童12名

指導者：本庄小学校職員

埋文C職員

1 主題 古墳時代 ～ 薄井原古墳の話を知ろう～

2 ねらい

- ・ 地域にある遺跡を素材とした歴史学習を通し、郷土の歴史や文化に対する興味・関心を高める。
- ・ 身近な古墳の話を知ることにより、古代の歴史や文化についての理解を深める。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援	準備物
9:30	1. はじめの会 講師紹介、今日の流れを知る。	・ 埋蔵文化財調査センターの職員を紹介する。 ・ 見通しを持って学習できるように本時の学習内容を知らせる。	
9:35	2. 画像を見て、薄井原古墳の様子や出土した様子について話を聞く。	・ 古墳の様子について事前の社会科の授業で学習しておく。	遺跡分布図 写真等 電子黒板 見学のしおり
9:50	3. DVDを見る。（20分） （遺跡発掘から歴史博物館に展示されるまでの様子）	・ 発掘作業をDVDで見て、実際に作業を行っている方の話を聞くことにより、歴史についての関心を高められるようにする。	
10:10	4. 当時の土器に触れ、当時の生活の様子について説明を聞く。 （15分）	・ 土器を見たり、実際に触ったりする。 ・ 使い方や用途を考えさせることによって、関心を高めるとともに、既習事項の定着を図る。	
10:25 ～	5. 休憩をとる		
10:45	6. 勾玉作り体験をする。	・ 実際に体験することで古代に思いをはせる。 ・ 使い方や用途を考えさせることによって、関心を高めるとともに、既習事項の定着を図る。	体験用材料
11:45	7. 学習を振り返る。（5分） ・ 感想発表。 ・ 終りの挨拶	・ 感想用紙を準備する。	感想用紙

4 準備物

（児童） 筆記用具、汚れてもいい服

（学校） 電子黒板、DVDプレイヤー

（埋文センター） 出土遺物、遺跡関係資料、写真パネル、粘土、施文具、土器作り資料、カメラ
パソコン